



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2018. 第 113 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事の上神谷（かみかべや）です。

これを書いている頃はお盆前の台風の時なのですが、あんな時期に台風なんて・・・振り回されてしまいましたね・・・

過去を少し調べてみたのですが、8月も台風接近があると言えばあるんですね。2016年などは4つとのことでした。でも、台風がまったくこない8月もあったりして・・・。

毎年「今年はどうなるのだろう・・・」と思いインターネットで過去のデータを調べたりするのですが、これだけは「自然のこと」ですので、わからないも

のですね・・・。

■ 夏休みの思いでに・・・

長女の高校受験もあり、今年は身動きがあまりとれない我が家ですが・・・。

下の子は幼稚園生の年長さんで、まわりのお友達はみんなご旅行にいたり夏思い出を作る予定ですが、我が家は、長女のそんな都合も重なっていると、ぼくも何かと仕事で・・・となってしまいがちですし、妻も仕事を始めましたので、計画を立ててあげないとどこにも行かずに夏休みがおわってしまう・・・という事態にもなりかねません。

と、ということで「どこかに出かけなければ・・・」となり、下の娘にどこにきたいかを聞きました・・・。

「ブドウ狩りに行きたい！」

とのこと。でも個人的には・・・

「暑そう・・・」

と尻込みなのですが・・・なにせ普段暑い仕事ですから、休みの時くらいは涼しく過ごしたいです・・・。

でもたっぺの希望らしく、ブドウをいっぱいって、いっぱい食べたいとのことなのです。

こうなるとチョット遠出で日帰りで・・・となると山梨とかか？

と妻と相談しています。確かに美味しいですね、あちらの方は果物が。ぼくは桃とかが好きです。一度桃狩りにいったことがあります。

そういうツアーに申し込むか？それとも我が家単独でいくか・・・？単独のほうが何かと自由ききますよね。例えば休憩時間はツアーでもありますが、決まったところにしか止りませんからね。

その点、単独行動ですと自由にどこのサービスエリアでも止まれますから、トイレ休憩などのときはいいですね。ぼくはトイレは結構重要なので・・・。

果たして？！この計画いかがが相成りますか？

続きは次号でお知らせします！



お世話になっております。長坂利昭です。

先月初め、西日本各地で記録的な豪雨がありました。たくさんの方々が犠牲となり、今もなお、不自由な生活を続けられている方々もいらっしゃいます。

幸い、東京では洪水になるほどの雨は降っていませんが、私共の家の近くには多摩川をはじめとして、大小数多くの川が流れています。

ひとたび、あのような雨が降ったら・・・人ごとではない話だと日々感じております。

各自治体では、ハザードマップと呼ばれる資料が作成されています。

例えば、多摩川の堤防が決壊した場合、どこの範囲がどの程度浸水するのかを記した資料もあります。

家族で定期的に見るようにし、実際、

その状況になったらどのように対応するかの話し合いをしておきたいですね。

■台風シーズンに突入

さて、厳しい暑さの続く今年の夏ですが、これからしばらくは「台風」が気になる季節となってきます。

台風が接近しますと、当然雨と風が強まります。そんな状況の中で注意をしておきたいのは、家の屋根。

今号では、コロニアル屋根のお話を。特に「屋根押さえ水切り金物」の存在に注目します。

改めて・・・右の写真で言えば、中央のアンテナをくぐっているもの、これを「屋根押さえ水切り金物」といいます。



これはコロニアル屋根の端を押さえている物で、この水切り金物の下にある木材に釘で止めてあります。ほとんどの場合、この水切り金物は鉄製で長年の放置状態により、写真でもわかる通り、サビてきてしまいます。

さらに放置すると、サビの発生は進行し、やがてはこの水切り金物自体が朽ちて穴が空いてしまいます。そうすると雨

漏りの原因にもなるのです。

もう一つ・・・この水切り金物は、釘で止まっていると書きましたが、この釘がほぼ間違いなく、10年を過ぎると「飛び出て」きます。



こちらの写真は、それぞれ違うお客様の屋根ですが、このように釘が飛び出てきてしまいます。原因は、長年の屋根に対する環境の変化(暑さ・寒さ・風雨等)や、地震、その他の微細な家の動き、部材の伸縮など多くの原因があります。

このまま放置しておくと、釘が抜け落ちてしまいます。全ての釘が外れてしまうという可能性は低いですが、それでもそんな中途半端に付いているものなので、強風などに煽られると、この水切り金物が外れてしまう場合もあります。

風で吹き飛んで、誰かに当たり怪我を

させてしまう・・・そんな心配も出てきますよね。

■水切り金物を外してみました



上の写真は、先ほどの写真とはまた別のお宅ですが、塗り替え前の調査で、水切り金物を外した時の様子。

真ん中の隙間を見て頂きたいのですが、水切り金物が外れてしまうと、この隙間がむき出しになる訳ですね。



また、水切り金物は、この木に釘で止めているとご説明をしましたが、次の写真のように、打ち付けられている木の方は、所々ぼろぼろになっています。これでは釘が効きませんよね・・・。



このような場合は、水切り金物とこの木をそっくり交換します。（この木の部分は、10年くらい前までは木製でしたが、最近では樹脂製のものが主流となっています。）交換した上で、水切り金物を再度取り付けます。

交換した後、この上からも塗り替えはします。そうするとしっかりした下地に釘が止まっています、なおかつ、釘頭の上にも塗装がされ、その後は釘が飛び出てくるといったことは、ほぼ無くなります。

もちろん10年以上経っていても、部材自体がしっかりしていれば、釘を打ち直すのみで交換は不要。打ち直し後、塗り替えに入っていきます。

なお、このような話しのきっかけに、急を要さない状態でも、さも「今すぐ工事をしないと危ない！」並みに無理やり契約を勧めてくる業者も残念ながらいるようです。ご注意ください。

~~~~~

発行者 地元の塗装店 『三商事』  
上神谷裕治（かみかべや ゆうじ）

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://sanshouzi.net/>

<http://www.sanshouzi.com/>

